

2025(令和7)年度  
大学院学生募集要項

文学研究科 日本文学専攻 修士課程  
社会福祉学研究科 人間福祉専攻 修士課程

■一般入試・社会人入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切
前期	9月11日(水)～10月31日(木)必着	11月9日(土)	11月15日(金)	11月27日(水)
後期	1月6日(月)～2月14日(金)必着	2月21日(金)	3月4日(火)	3月15日(土)

■外国人留学生入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切
A 日程	9月11日(水)～10月31日(木)必着	11月9日(土)	11月15日(金)	11月27日(水)
B 日程	1月6日(月)～2月14日(金)必着	2月21日(金)	3月4日(火)	3月15日(土)

HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY



弘前学院大学

## 目 次

### ◆沿革

1

#### 文学研究科 日本文学専攻 修士課程

1 文学研究科の三ポリシー	2
2 修士論文および学位	2～3
3 履修基準および授業科目	3
4 文学研究科授業科目の概要	4～5
5 奨学金	5

#### 社会福祉学研究科 人間福祉専攻 修士課程

1 社会福祉学研究科の三ポリシー	14
2 修士論文および学位	14
3 履修基準および授業科目	14～15
4 社会福祉学研究科授業科目の概要	16～17
5 奨学金	18

＜ 一般入試 ＞	6～7
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、	

＜ 一般入試 ＞	19～20
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続	

＜ 社会人入試 ＞	8～9
社会人募集の主旨、社会人大学院生に関する特例措置、募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続	

＜ 社会人入試 ＞	21～22
社会人募集の主旨、社会人大学院生に関する特例措置、募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続	

＜ 一般入試・社会人入試 共通事項 ＞	10
出願上の注意事項、入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について	

＜ 一般入試・社会人入試 共通事項 ＞	23
出願上の注意事項、入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について	

＜ 外国人留学生入試 ＞	11～13
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、出願上の注意事項、入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について	

＜ 外国人留学生入試 ＞	24～26
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、出願上の注意事項、入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について	

＜ 両研究科 全試験区分 共通事項 ＞	
入試に関する問い合わせ先	27
個人情報の取り扱いについて	27
寄附金について	27
出願書類提出の注意事項一覧	28
大学案内図	29

## 沿革

弘前学院大学は、1886（明治19）年、青森県における最初の女子普通教育の学校として、「畏神愛人」のキリスト教理念に基づいて本多庸一により創設されました。

本多庸一は津軽藩弘前出身のキリスト者であり、青山学院2代院長（初代はマクレイ博士で、本多氏は日本人初の院長）として、またメソジスト教会初代監督としてつとに知られ、新島襄、内村鑑三、新渡戸稲造等と並ぶ文字通り日本におけるキリスト教の先駆者でした。

校名は、当初基金の寄付者ライト夫人の名をとり来徳女学校と称されました。その後弘前遺愛女学校 1887（明治20）年、弘前女学校 1889（明治22）年、弘前聖愛高等女学校 1946（昭和21）年と改称され、第二次世界大戦中の辛酸にもめげず、キリスト教主義教育の精神を貫き、今日のゆるぎない礎を固めてまいりました。

1948（昭和23）年に学制改革により、弘前聖愛高等学校となり、弘前聖愛中学校を併置しました。

1950（昭和25）年、これまでの歴史と伝統を基盤に短期大学（英文科）を弘前市坂本町に開学、この年に校名を弘前学院と改め、以来本学院の各学校を弘前学院短期大学、弘前学院聖愛高等学校、弘前学院聖愛中学校とそれぞれ称しました。その後 1951（昭和26）年、それまでの弘前教会の経営になっていた若葉幼稚園、愛光幼稚園を引き継ぎ、1958（昭和33）年に両者を一つにして弘前学院聖愛幼稚園とし、1971（昭和46）年念願の四年制大学を開学するに及びました。その後、時代の趨勢に伴い、1980（昭和55）年3月に弘前学院聖愛中学校、1995（平成7）年3月に弘前学院聖愛幼稚園が廃止となりましたが、1999（平成11）年4月には弘前学院短期大学が地域社会の要請に応じて大学社会福祉学部を発展的に改組転換され、ついで 2003（平成15）年4月、社会福祉のより高度な専門知識・識見および技能を有する職業人の養成を目指し大学院社会福祉学研究科が設置され、2005（平成17）年4月には地域医療教育の充実を目指して看護学部が開設され、同年、本学文学部における教育の基礎の上にさらに大学院文学研究科が設置され現在に至っています

2006（平成18）年4月に聖愛高校の校舎内に中学校を開設し、中学校から大学、さらには大学院までの一貫教育の充実を指向しています。

# 文学研究科日本文学専攻修士課程

## 1 文学研究科の三ポリシー

### 【大学院の目的】

キリスト教に基づく人格教育と学問の自由を基礎として、学術についての理論及び応用を研究・教授し、もって人間の文化と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。

この目的を達するために、広い視野に立って専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な卓越した能力を涵養する。

### 【文学研究科の目的】

1. 地域の言語・文学・文化に関する広い視野と豊かな学識を培うとともに、専門領域における優れた調査・研究能力を養い、精深な学識と高度な学術研究の方法を身につけた人材を育成する。
2. 言語・文学・文化に関する地域性や普遍性を追究する。その際、国内の異なる地域との比較や国際比較の観点など、広い地域を視野に入れて位置づけ、国際的・学際的研究をすることにより、研究成果を地域のみにとどまらず広く社会の発展に寄与する。
3. 日本ならびに地域の言語・文学・文化の保存と継承に寄与する実践的活動を、学内外の教育研究組織と連携して行い、広く社会の発展に寄与する。

### (1) ディプロマポリシー (Diploma policy : 学位授与の方針)

1. 日本語・日本文学・日本文化の各分野を研究対象として、各領域の地域性の解明、および内在する普遍性を追究できる能力を身につける。
2. 深い専門的知識と広い視野をもって、自ら課題を発見し、調査・研究し、課題解決できる研究遂行能力を身につける。
3. 研究によって得た知見を社会に発信する一方で、積極的なコミュニケーションを通して他者との協働のもとに、地域社会の発展に寄与する能力を身につける。

以上の能力を身につけ、研究科に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に、修士(文学)の学位を授与する。

### (2) カリキュラムポリシー (Curriculum policy : 教育課程編成・実施の方針)

1. 日本語・日本文学・日本文化の各分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得し、とくに北東北をはじめとするそれぞれの地域性の解明、および内在する普遍性を追究できる能力を獲得できるように授業科目を設置する。
2. 広い視野に立って専攻分野における研究能力や高度の専門性を身につけるため、各分野における「特論」や「演習」の授業科目が計22単位、「課題研究Ⅰ・Ⅱ」が計8単位で、深く・広い専門的知識の修得と、主体的研究能力育成のためのバランスが適切になるように設置している。各分野に関する講義科目の「特論」を中心としたコースワークと、主体的に研究を進め、論文執筆に取り組めるように演習科目の「演習」を主体とするリサーチワークを取り入れ、広い分野の体系的知識の修得と専門的研究能力の育成をはかるための教育課程を編成する。
3. 修士論文作成に向けて、コースワークを基礎にして、「演習」以外のリサーチワークとして、自らがオリジナルな研究を行うことを目的とした「課題研究」を1年次より設ける。通年の必修科目「課題研究Ⅰ」(1年次)の上に、「課題研究Ⅱ」(2年次)に設け、「課題研究」を段階的に履修することで研究が計画的に進展するようにする。

### (3) アドミッションポリシー (Admission policy : 入学者受け入れの方針)

文学研究科は、日本語・日本文学・日本文化に関して、基礎的な理解・知識と課題分析能力(学部卒業程度)を有し、深く探究しようとする人、また、各分野における地域の特質の解明とともに、それを総合的に把握しようとする人、さらに、その研究を通して地域社会の発展に寄与しようとする人を受け入れる。評価の方法については、論文記述(専門科目)試験、面接試験審査、出願書類審査により総合的に評価する。

## 2 修士論文および学位

- ① 修士論文は、各専門に関する主題で、(A)地域の文学・文化、(B)日本文学・日本語学の発展に関わる学術論文とする。

- ② 研究科に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者には、「修士（文学）」の学位を授与する。

### 3 履修基準および授業科目

#### (1) 履修基準

- ① 課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱ——— 8単位必修
- ② 自己の所属する指導教員の「特論」、「演習」は、計4単位必修
- ③ 指導教員の「特論」、「演習」必修の他に、「特論」を2科目（4単位）、「演習」を2科目（4単位）必修
- ④ 修了必要単位数は30単位

#### (2) 履修モデル

[日本語学の場合]（修了必要単位数 30単位）

	前期	後期
1年次	日本語学特論（日本語学）	日本文法特論（日本語学）
	日本文学特論C（近世文学）	日本語学演習（日本語学）
	日本文学特論D（近現代文学）	日本文学演習D（近現代文学）
	漢文学特論（漢文学）	民俗芸能演習
	地域史特論	課題研究Ⅰ
	地域メディア特論	
	課題研究Ⅰ	
2年次	地域文学特論	課題研究Ⅱ
	課題研究Ⅱ	

[日本文学の場合]（修了必要単位数 30単位）

	前期	後期
1年次	日本文学特論A（古代文学）	伝承文学特論
	日本文学特論C（近世文学）	日本文学演習A（古代文学）
	日本文学特論D（近現代文学）	日本文学演習D（近現代文学）
	漢文学特論（漢文学）	日本語学演習（日本語学）
	地域史特論	課題研究Ⅰ
	地域メディア特論	
	課題研究Ⅰ	
2年次	地域文学特論	課題研究Ⅱ
	課題研究Ⅱ	

[日本文化の場合]（修了必要単位数 30単位）

	前期	後期
1年次	民俗学特論	伝承文学特論
	民俗芸能特論	民俗芸能演習
	日本文学特論A（古代文学）	日本文学演習A（古代文学）
	日本文学特論D（近現代文学）	日本語学演習D（近現代文学）
	地域史特論	課題研究Ⅰ
	地域メディア特論	
	課題研究Ⅰ	
2年次	地域文学特論	課題研究Ⅱ
	課題研究Ⅱ	

#### 4 文学研究科授業科目の概要

授業科目名	単位数	授業科目等の概要
日本文学特論A (古代文学)	2	景行記のヤマトタケル伝承関係の諸論文を読み、問題点を見付けながらその本義と生成を追求する。
日本文学特論B (中世文学)	2	※2024年度開講せず
日本文学特論C (近世文学)	2	[キーワード:江戸時代の言語文化、江戸語、上方語、地域語] テーマ:歴史言語における規範・標準と、変異 —近世の江戸と、北奥・津軽のことは— 中央は、地方をどのようにみていたか、地方は、中央を、また地方をどのようにみていたか。具体的な資料を探索し、言語・表現の位相から双方の見方を明らかにしていく。
日本文学特論D (近現代文学)	2	大江健三郎の初期小説を中心に、大江健三郎の評論、初期小説とフランスの作家ピーエル・ガスカールとの影響関係について考え、講読する。
日本語学特論 (日本語学)	2	現代日本語を例として、ことば・方言と社会の関係について考える。具体的な問題を主題として、ことばの運用面のテーマを考える。
日本文法特論 (日本語学)	2	待遇表現研究 待遇表現としての敬語について、現代敬語の特徴と分類について知り、運用上の問題点とその対策について考える。
民俗学特論	2	日本の年中行事や民俗芸能(盆踊りや神楽など)を信仰や習俗の側面からとらえ、庶民の生活文化を明らかにする。
民俗芸能特論	2	民俗芸能に関する先行研究を取り上げ、民俗芸能研究の問題点を探る。調査・研究方法を学んだ上で受講者自らが口頭発表形式で発表を行い、レポートにまとめる。発表・レポートでは当該芸能の概要に加えて、類例との比較によるその芸能の位置づけや、授業で学んだ点を盛り込んだ各自の考察を行う。
漢文学特論 (漢文学)	2	漢語の基礎知識と語法を広く学んだ後、日本で愛読された、訓点付きの注釈書を読んで、漢詩・漢文に対する理解を深める。
伝承文学特論	2	記紀の枯野伝承と国栖伝承の条を各レベルに合わせて精読し、この二つの条の散文と韻文の構造を解明する。
地域文学特論	2	[キーワード:地域文学・表象] 青森県や弘前市にゆかりのある日本近現代文学作品の読解を行う。 日本近現代文学の中で青森や弘前がどのように表象されてきたのか見識を深める
地域史特論	2	テーマ:「地域」の視点に立って日本およびアジアの歴史の学習を行う。 「地域」の視点から日本とアジアの歴史を学ぶのに適したテーマを選択し、講義を主体に、教師側からの一方通行の授業でなく演習の要素も加えた「参加型」の授業を行います。重要な問題については、次回までの課題とすることもあります。なお、昨年は、「大化の改新から壬申の乱へ」をテーマとし、大化の改新前夜から、白村江の戦い、近江朝廷を経て、壬申の乱勃発に至る歴史の学習を行いました。
地域メディア特論	2	情報が氾濫するネット社会において、情報の精査、整理、企画、編集する力と、地域の特色を理解し、完成度が高く、グローバルな視野をもった魅力ある情報を発信する力を養う。また、多様化するメディアを理解し、出版、編集の基本を学び、幅広くメディアを担う人材の育成を図る。
日本文学演習A (古代文学)	2	景行記・紀のヤマトタケル伝承の注釈書を比較して、解釈の相異や深まりを確認し、ヤマトタケル関係の生成を追求する。

授業科目名	単位数	授業科目等の概要
日本文学演習B (中世文学)	2	※2024年度開講せず
日本文学演習C (近世文学)	2	テーマ:江戸文化と文学と言語表現 江戸文化爛熟の化政期に生まれた作品を読解・鑑賞しつつ、作品とそれを産み出す社会的背景を考察する。その具体的作品として、化政期の口語を反映する歌舞伎脚本『東海道四谷怪談』をとりあげ、その受容と影響の大きさを考える。
日本文学演習D (近現代文学)	2	《昭和期の文学》小説の方法という点で昭和期を代表する小説作品(「遷東綺談」1937、「人間失格」1948、「豊饒の海」1965-1971)とそれに対する分厚い研究論文群を精読する。
日本語学演習 (日本語学)	2	[キーワード:ヴァーチャル方言 キャラ語、ドラマ方言] テーマ:現代社会における方言の役割 従来の地域方言と地域を越えたヴァーチャル方言など、新種の方言の果たす役割について考える。
民俗芸能演習	2	[キーワード: 民俗芸能・日本文化] 演習形式により、民俗芸能に関する先行研究を取り上げ、民俗芸能研究の問題点を探る。調査・研究方法を学んだ上で受講者自らが口頭発表形式で発表を行い、レポートにまとめる。発表・レポートでは当該芸能の概要に加えて、類例との比較によるその芸能の位置づけや、授業で学んだ点を盛り込んだ各自の考察を行う。演習では文献カード・リサーチカードを使用し研究発表や論文作成の基礎を学ぶ。
課題研究 I	4	大学院学生各自が、自らの問題意識に基づいた研究課題を自主的に設定し、創造的な研究ができ、高度に能力が発揮できるように、個別指導を行う。
課題研究 II	4	課題研究 I の指導の上に乗って、研究テーマを更に深め、広い人文的教養と高度の専門的知識を備えるように、個別指導を行う。また、学会などで口頭発表ができ、それに基づいて学会誌などに投稿できるような、独創的な修士学位論文の完成を目指した個別指導を行う。

## 5 奨学金

本学で取り扱う主なものは次の通りです。それぞれ資格や条件、選考基準が定められていますので、詳しくは本学学生課 (TEL 0172-34-5211) までお問い合わせください。

### ●弘前学院大学学内奨学金(免除)

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して選考します。  
(定数) 1名 ※年度により定数を変更することがあります。  
(免除額) 当該年度授業料の2分の1相当額  
(応募資格) 本学大学院在学2年目以上の者

### ●弘前学院学内奨学金(貸与)

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して貸与されます。  
(月額) 50,000円

### ●その他の奨学金

奨学金名		貸与額(月額)
日本学生 支援機構	第一種奨学金	50,000円
		88,000円
	第二種奨学金 ※希望により右の 貸与月額を選択 できます。	50,000円
		80,000円
		100,000円
		130,000円
	150,000円	

## 文学研究科日本文学専攻修士課程〈一般入試〉

### ◆募集人員等

専攻名:日本文学 修業年限:2年 募集人員:前期5名、後期2名

### ◆出願資格

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (7) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (10) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2025年3月末日までに22歳以上に達する者

(注) 上記(10)で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙) 推薦書(本学所定用紙) 最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

### ◆入試日程

	前 期	後 期
出願期間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試験日	2024年11月9日(土)午前9時45分 会場:本学	2025年2月21日(金)午前9時45分 会場:本学
合格発表	2024年11月15日(金)午前9時	2025年3月4日(火)午前9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便とってください。

出 願 書 類	
①	入学志願書(本学所定用紙)
②	写真票(本学所定用紙)
③	受験票(本学所定用紙)
④	検定料納付書(本学所定用紙)
⑤	卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込み証明書
⑥	成績証明書
⑦	入学検定料 30,000円 郵送の場合は郵便為替にて同封のこと。ただし、本学卒業(卒業見込み)者の入学検定料は15,000円。※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑧	卒業論文および研究報告書等があれば、その写し。なお、作成していない場合は提出不要です。
⑨	志望理由書(本学所定用紙)
⑩	研究計画書(本学所定用紙)
⑪	出願資格認定審査申込書(本学所定用紙) ※出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑫	推薦書(本学所定用紙) ※出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑬	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑭	封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平 日:午前9時～午後5時 土曜日:午前9時～午後2時

## 文学研究科日本文学専攻修士課程〈社会人入試〉

### ◆社会人募集の主旨

弘前学院大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程では、一般入試とは別に、社会人を対象とした入学試験制度によって、次の要領で学生募集をします。

この社会人リカレント教育制度は、社会人・職業人に広く大学院の門戸を開くことによって、より深められた研鑽と生涯学習などの機会を提供すると共に、修士課程修了による資格取得を目的として実施するものです。

### ◆社会人大学院生に関する特例措置

社会人で、教育方法の特例措置を希望する者には、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特別措置を適用して、高等教育を受ける機会を拡大するため、特例措置を行うことにしています。これによって、在職しながら通学することが可能です。

### ◆募集人員等

専攻名：日本文学      修業年限：2年      募集人員：前期2名、後期1名

### ◆出願資格

- (1) 大学院修了者(中退、退学者を含む)
- (2) 一般入試の出願資格のいずれかに該当し、かつ、社会経験が1年以上ある者

(注)一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)、推薦書(本学所定用紙)、最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)、その他の書類(最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

### ◆入試日程

	前 期	後 期
出 願 期 間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試 験 日	2024年11月9日(土)午前 9時45分 会場:本学	2025年 2月21日(金)午前 9時45分 会場:本学
合 格 発 表	2024年11月15日(金)午前 9時	2025年 3月4日(火)午前 9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年 3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便としてください。

出 願 書 類	
①	入学志願書(本学所定用紙)
②	写真票(本学所定用紙)
③	受験票(本学所定用紙)
④	検定料納付書(本学所定用紙)
⑤	卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込み証明書
⑥	成績証明書
⑦	入学検定料 30,000円 郵送の場合は郵便為替にて同封のこと。ただし、本学卒業(卒業見込み)者の入学検定料は15,000円。※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑧	卒業論文、研究報告書、修士論文、博士論文および著書等があれば、その写し。なお、作成していない場合は提出不要です。
⑨	志望理由書(本学所定用紙)
⑩	研究計画書(本学所定用紙)
⑪	出願資格認定審査申込書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑫	推薦書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑬	各種免許状(教諭等)があればその写し
⑭	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑮	封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平日:午前9時~午後5時 土曜日:午前9時~午後2時

## <一般入試・社会人入試 共通事項>

### ◆出願上の注意事項

- ・提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
- ・身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

### ◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述(専門科目)試験、口頭試問、出願書類審査の結果を総合して行います。

### ◆試験時間及び試験科目 【試験会場:本学】

試験日程	9:00～	受付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述(専門に関係した内容)
	11:45～12:30	昼食・休憩
	12:30～	口頭試問

### ◆受験上の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出てください。
- (2) 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置いてください。
- (3) 受験者は試験開始15分前までに入室、着席してください。
- (4) やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
- (5) 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡してください。

### ◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。なお、電話による可否の問い合わせはしておりませんので、ご了承ください。

### ◆入学手続

合格発表後、入学手続締切日までに次のものを本学総務課に提出・納入してください。

- (1) 身元保証書(本学所定のもの)
- (2) 入学金 ※納入金は事由の如何を問わず返還いたしません。

### ◆学費一覧

	本学卒業(卒業見込み)者	本学以外からの入学者
入 学 金	50,000円	100,000円
授 業 料	820,000円	820,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
初年度納入金	970,000円	1,020,000円

※入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。

※校納金は入学後4月と10月に分けて納入することになります。

※後援会費、校友会費等は別途納入することになります。

※学費スライド制を適用することがあります。

### ◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、3月31日までに入学を辞退する場合は、入学辞退届(様式自由)に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、アドミッションセンターへ提出してください。

## 文学研究科 日本文学専攻修士課程 < 外国人留学生入試 >

### ◆募集人員等

専攻名: 日本文学      修業年限: 2年      募集人員: 前期若干名、後期若干名

### ◆出願資格

外国籍(日本国籍を持たない)で、次のいずれかの資格を有し、入学する年の3月31日までに22歳に達している者。日本語については、日本語能力試験(JLPT)N2レベル程度、日本留学試験(EJU)200点(日本語:読解、聴解及び聴読解)以上の能力を有すること。

[資格]一般入試の出願資格のいずれかに該当している者

(注)一般入試の出願資格(10)「大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2025年3月末日までに22歳以上に達する者」に該当することにより出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)、推薦書(本学所定用紙)、最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)、その他の書類(最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

○大学院での講義は主として日本語で行われるため、受講に支障がない程度の日本語能力を要します。

○入学金、学費、諸会費ならびに生活費等の滞在経費を用意できる支弁者(保護者等)が確保されている必要があります。

○出願について不明な点がある場合は、出願締切日の1ヶ月前までにお問合せください。

### ◆入試日程

	A日程	B日程
出願期間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試験日	2024年11月9日(土)午前9時45分 会場:本学	2025年2月21日(金)午前9時45分 会場:本学
合格発表	2024年11月15日(金)午前9時	2025年3月4日(火)午前9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便としてください。

出願書類	
①	入学志願書(本学所定用紙)
②	写真票(本学所定用紙)
③	受験票(本学所定用紙)
④	検定料納付書(本学所定用紙)
⑤	最終出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書
⑥	最終出身学校の成績証明書
⑦	(日本国内在住の志願者) 住民票[市区町村長の発行する住民票(国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの)]および在留カードのコピー (海外からの志願者)パスポートの写し(氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分)
⑧	日本語能力試験(JLPT)または日本留学試験(EJU)を受験した場合は、受験した試験の成績通知書(写し)
⑨	入学検定料 30,000円 郵送の場合は普通郵便為替を郵便局窓口で購入し、同封のこと ※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑩	志望理由書(本学所定用紙)
⑪	研究計画書(本学所定用紙)
⑫	出願資格認定審査申込書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑬	推薦書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)に該当する場合のみ提出してください。
⑭	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑮	封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平 日: 午前9時～午後5時 土曜日: 午前9時～午後2時

### ◆出願上の注意事項

- (1) 本学所定用紙や出願用封筒は、全て日本語で記入してください。
- (2) 出願の際は出願受付締切日までに到着するように十分ゆとりをもって提出してください。
- (3) 提出された出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
- (4) 身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

### ◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述(専門科目)試験、口頭試問、出願書類審査の結果を総合して行います。

### ◆試験時間及び試験科目 【試験会場:本学】

試験日程	9:00～	受付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述(専門に関係した内容)
	11:45～12:30	休憩
	12:30～	口頭試問

### ◆受験上の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出てください。
- (2) 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置いてください。
- (3) 受験者は試験開始15分前までに入室、着席してください。
- (4) やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
- (5) 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡してください。

### ◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。  
なお、電話による可否の問い合わせはしておりませんので、ご了承ください。

### ◆入学手続

合格者に対して、本学から合格通知書とともに入学手続関係書類を送付します。合格者は、入学手続締切日までに入学金を納入し、かつ必要書類を提出してください。なお、入学手続時の納入金は返還していません。  
※日本の在留資格を持っていない場合、または在留資格が「短期滞在」の場合、入国・在留関係の手続きに、約1～2ヵ月必要となりますので、速やかに申請手続を行ってください。

### ◆学費一覧(単位:円)

	1年次	2年次
入学金	100,000円	-
授業料	820,000円	820,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
初年度納入金	1,020,000円	920,000円

- ※入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
- ※校納金は入学後4月と10月に分けて納入することになります。
- ※後援会費、校友会費等は別途納入することになります。
- ※学費スライド制を適用することがあります。

### ◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、3月31日までに入学を辞退する場合は入学辞退届(様式自由)に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、アドミッションセンターへ提出してください。

# 社会福祉学研究科人間福祉専攻修士課程

## 1 社会福祉学研究科の三ポリシー

### 【大学院の目的】

キリスト教に基づく人格教育と学問の自由を基礎として、学術についての理論及び応用を研究・教授し、もって人間の文化と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。

この目的を達するために、広い視野に立って専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な卓越した能力を涵養する。

### 【社会福祉学研究科の目的】

社会福祉に関する歴史・制度・政策およびソーシャルワークに関する諸問題の把握、分析・考察を通して、個々の福祉問題に対応できる人材を育成する。

#### (1) ディプロマポリシー (Diploma policy : 学位授与の方針)

1. 社会福祉に関する歴史、制度・政策およびソーシャルワークに関する諸問題の把握、分析・考察する能力。
2. 高度な専門性を要する職業等に必要な知識・技術を習得し、個別具体的な生活問題に対応する能力。
3. 専門的な職業等で必要とされる新たな力を主体的に学習する能力。

以上の能力を身につけ、2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査および口頭試験に合格した者に対して修士（社会福祉学）の学位を授与する。

#### (2) カリキュラムポリシー (Curriculum policy : 教育課程編成・実施の方針)

社会福祉学研究科の教育課程では、修士課程の教育目的を達成するため、次のカリキュラムを編成する。

1. 人間福祉特論科目において理論的・実践的な知識の修得を目指す科目を編成する。
2. 人間福祉実習科目において経験から具体的な支援過程の修得を目指す科目を編成する。
3. 人間福祉演習科目において文献研究・調査研究をとおした修士論文の作成を目指す科目を編成する。

#### (3) アドミッションポリシー (Admission policy : 入学者受け入れの方針)

社会福祉学研究科は、下記の者を受け入れる。

1. 社会福祉学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有する者で、高度な専門的能力の修得を目指す者
  2. すでに社会福祉分野で職業人として活躍しており、更なる能力向上を目指す者
  3. 現代の社会福祉に関連する諸問題を解決するための研究力あるいは実践力の修得を目指す者
- 入学者選抜は、筆記試験、面接試験、書類選考により行う。

#### 社会人大学院生の受け入れ

本研究科はリカレント教育を標榜し、積極的に社会人院生の受け入れをすすめ、生涯学習の拠点となることを目指している。そのため適宜に講義の夜間開講を行い、学習のための便宜を図るようにしている。また、入学資格、就労方法などについても可能な限りの配慮をしている。

## 2 修士論文および学位

修士論文 論文審査と口述試験による  
学 位 修士（社会福祉学）

## 3 履修基準および授業科目

### (1) 履修基準

人間福祉専攻における履修基準（最低修得単位数）は、右記の通りです。

授業科目	単位数
人間福祉特論科目	22単位
人間福祉演習科目	4単位
人間福祉実習科目	4単位
合 計	30単位

- ① 修士課程修了に要する合計単位数は30単位です。
- ② 特論科目は、開設科目単位数30単位の中から必修科目（キリスト教社会福祉特論）2単位、選択科目20単位を履修できますが、別表の履修モデルを参考にしてください。
- ③ 演習科目は、開設科目単位数の16単位の中から4単位の履修が必要です。
- ④ 実習科目は、福祉援助技術領域と福祉制度運営領域のうちのいずれかを選択して4単位履修します。

(2) 履修モデル

別表には、主に福祉援助技術領域、福祉制度運営領域、それに2つの領域にわたる科目履修モデルが例としてあげられています。これは、特論科目をどう選択するかの方法に関係しています。最低基準を満たすための一応の目安になるでしょう。

① 福祉援助技術領域履修モデル

人間福祉特論科目 (2 単位必修、20 単位選択必修)	人間福祉演習科目 (4 単位選択必修)	人間福祉実習科目 (4 単位必修)
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)	人間福祉演習C(4)	
社会科学的研究法特論(2)		
福祉実践人間論特論(2)		福祉援助技術領域実習(4)
福祉援助技術特論Ⅰ(2)		
福祉援助技術特論Ⅱ(2)		
臨床心理学特論(2)		
高齢者福祉心理学特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

② 福祉制度運営領域履修モデル

人間福祉特論科目 (2 単位必修、20 単位選択必修)	人間福祉演習科目 (4 単位選択必修)	人間福祉実習科目 (4 単位必修)
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)		
社会科学的研究法特論(2)	人間福祉演習A(4)	
生涯福祉特論(2)		福祉制度運営領域実習(4)
人間福祉教育特論(2)		
児童家庭福祉特論(2)		
福祉行政特論(2)		
社会福祉法制特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

③ 2つの領域に亘る科目履修モデル

人間福祉特論科目 (2 単位必修、20 単位選択必修)	人間福祉演習科目 (4 単位選択必修)	人間福祉実習科目 (4 単位必修)
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)		
社会科学的研究法特論(2)		
福祉実践人間論特論(2)	人間福祉演習D(4)	福祉援助技術領域実習(4)
生涯福祉特論(2)		福祉制度運営領域実習(4)
福祉援助技術特論Ⅰ(2)		
高齢者福祉心理学特論(2)		
障害者福祉特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

#### 4 社会福祉学研究科授業科目の概要

授業科目名	単位数	授業科目等の概要
キリスト教 社会福祉特論	2	イエス・キリストは2000年前のユダヤに生まれ、30数年の人生を送り、十字架につけられて死んだ。しかし、彼はその生涯を通して、数多くの人々に励ましと慰めを与えた。また、彼を信じた人々は、今もなお他者(隣人)のための働きをなしている。キリスト教的な隣人愛、福祉の精神とはいかなるものか。身近な切り口として聖書というテキストを用いて考えてみたい。
社会福祉原論研究	2	そもそも人間は、なぜ他人を助けるのか、ということについて論ずる。その際、これまでの歴史を辿り、客観的な事実を確認することから始める。
社会科学 研究法特論	2	社会科学の特徴を原理的に考え、そのうえで社会科学の研究方法を学ぶ。社会科学の研究対象は人間に関わるため、意味の問題やそれについての解釈という問題から離れることができない。つまり社会現象を客観的に捉えることには困難さが伴っている。このような困難さを抱えつつ社会現象を理解することが、どのように可能であるかを考える。
福祉実践 人間論特論	2	①福祉実践者の系譜、②障害の個別特性に基づいた支援、③人間行動の成り立ち、④共生社会に関する具体的事例の中から、知識を整理し考察検討しながら学修、研究する。
生涯福祉特論	2	自閉症の子どもたちやアルツハイマー病の患者、PTSDにかかった人たちの情動を探ることにより、彼らの人格の変化、無関心、冷淡さのなかで起きていることを見つけようと試みる。
福祉援助 技術特論Ⅰ	2	ソーシャルワークの理論と実践の基本的枠組みをふまえ、ソーシャルワークの理論の活用と検証およびソーシャルワークの現場にみる経験知と理論の活用について学ぶ。
福祉援助 技術特論Ⅱ	2	ソーシャルワーク領域におけるアドボカシーの歴史を概観し、ソーシャルワークにおけるアドボカシーの機能について学ぶ。また、アドボカシーに関する実践事例をつうじて、ソーシャルワーク領域におけるアドボカシーの実際の理解を深める。
臨床心理学特論	2	臨床心理学の代表的な理論と方法について概観し、臨床心理学の目的、種々のアセスメント法、心理療法や実践場面について理解する。
児童家庭福祉特論	2	急速に進行する少子化の中で求められる児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉の理念、権利擁護について学習しながら、特に増加の一途を辿る児童虐待や社会的養育の分野等、特別な支援を要する児童や家庭の支援について知識を深める。
高齢者福祉心理学特論	2	高齢者学(Gerontology)と高齢者福祉心理学、高齢者福祉臨床における諸問題について概観し、その中からヘルシエイジングにおけるもの忘れの病理に触れる。さらに認知症者の記憶病理について、主に神経心理学、記憶心理学のサイドから論考し、臨床的処遇についての具体的な事例についての分析をすすめる。記憶リハビリテーションの理論と方法について論じる。
人間福祉教育特論	2	「人間福祉のための教育」は社会福祉の世界でも教育の世界でも重要な課題であるにも拘らず、これまで両世界は乖離していた。本特論ではその両世界を一つの世界に構築し直し、実り多い成果をあげるための方法の確立に取り組む。そのための前提は新しい「人間福祉教育学」を構想し、かつ体系づけることにある。本特論ではそのための資料を作成し、深く考察することになる。

授業科目名	単位数	授業科目等の概要
障害者福祉特論	2	障害者権利条約には障害者が「他の者との平等を基礎として」地域で当たり前に暮らしていけるよう諸施策を確保するべきと記載されている。日本では、2010年代に条約批准を目的として大きな制度改革が図られた。しかし、条約の精神と障害者の生活にはまだまだ距離があるといわざるを得ない。障害者の権利を踏まえ、障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会にするためにはどのような対策・対応が必要か追究する。
福祉行政特論	2	福祉行政に関わる諸問題を特に憲法と行政法の両面から展開する。社会福祉士国家試験問題を素材に、条文や制度の趣旨を明らかにし、それらがいかに重要かを学ぶ。
社会福祉法制特論	2	民法典の第4編・親族、第5編・相続（家族法）を中心に、法律が我々の人生に、どのように結びついているのかを知る。さらには、超高齢化社会の到来、晩婚・未婚化による少子化の進行、生殖補助医療技術の進展による親子関係、姓、性の選択、等、民法制定時には想定していなかった問題について、民法（とくに家族法）は対応できているのか否かを検討し、近時の民法改正についても言及するものである。
福祉情報科学特論	2	福祉分野における情報科学の現状および諸問題を研究し、新しい時代に出会う諸問題について考察できるようになる。
人間福祉演習A	4	修士論文執筆にあたり、何のために何を明らかにしたいのかを、社会福祉の歴史的研究の領域で研究レビューを行ないながら、論文テーマ設定を行う。
人間福祉演習B	4	修士論文と関連のある文献資料の整備から始め、さらに文献講読をすすめる。先行研究の査読・検討から研究の構想を練り、研究仮説の設定と方法・手続きを決め、リサーチを展開し、修士論文作成のためのベースづくりをする。
人間福祉演習C	4	修士論文執筆と修論研究発表会での発表を含めて院生個々に対して指導・助言を行う。本演習を通じ、院生個々人の研究テーマに応じた研究指導を行う。先行研究を調べた上で、問題意識(関心があるテーマや仮説の設定)を明確にし、問題を解明する上での適切な調査方法の選択、調査の実施、調査結果から得られた新知見を踏まえ問題設定に対応した結論を導き出せるよう研究指導を行う。修士論文の執筆はもちろん、その研究成果を修論研究発表会で発表できる能力が身につけられるよう指導・助言を行う。
人間福祉演習D	4	本演習では、以下のプロセスを通じて論文の完成を目指す。 ・テーマ・仮説を設定する ・先行研究の読解と通してテーマ・仮説を再検討する ・データの解釈を通じて、仮説を検証する ・検証結果を基に論文を執筆する
福祉援助技術領域実習	4	福祉援助技術領域実習は利用者の理解に始まり、制度理解、社会福祉全般の知識や援助技術など学んだことを活用する。実習後は、実習計画にあげた課題の成果をふりかえりながら総括しレポートを作成する。
福祉制度運営領域実習	4	社会福祉の制度を確認しながら、実際に社会福祉施設をはじめとする事業が、どのように運営されているのかを把握する。

## 5 奨学金

本学で取り扱う主なものは次の通りです。それぞれ資格や条件、選考基準が定められていますので、詳しくは本学学生課（TEL 0172-34-5211）までお問い合わせください。

### ●弘前学院大学学内奨学金(免除)

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して選考します。

(定数)1名 ※年度により定数を変更することがあります。

(免除額)当該年度授業料の2分の1相当額

(応募資格)本学大学院在学2年目以上の者

### ●弘前学院学内奨学金(貸与)

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して貸与されます。

(月額) 50,000円

### ●その他の奨学金

奨学金名		貸与額(月額)
日本学生 支援機構	第一種奨学金	50,000円
		88,000円
	第二種奨学金 ※希望により右の 貸与月額を選択で きます。	50,000円
		80,000円
		100,000円
		130,000円
	150,000円	

## 社会福祉学研究所 人間福祉専攻修士課程 < 一般入試 >

### ◆募集人員等

専攻名: 人間福祉 修業年限: 2年 募集人員: 前期5名、後期2名

### ◆出願資格

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (7) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2025年3月までに終了見込みの者
- (10) 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者
- (11) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2025年3月末日までに22歳以上に達する者

(注) 出願資格(10)又は(11)で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)、推薦書(本学所定用紙)、最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

### ◆入試日程

	前 期	後 期
出 願 期 間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試 験 日	2024年11月9日(土)午前 9時45分 会場: 本学	2025年 2月21日(金)午前 9時45分 会場: 本学
合 格 発 表	2024年11月15日(金)午前 9時	2025年 3月4日(火)午前 9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年 3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便としてください。

出願書類
① 入学志願書(本学所定用紙)
② 写真票(本学所定用紙)
③ 受験票(本学所定用紙)
④ 検定料納付書(本学所定用紙)
⑤ 卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込み証明書
⑥ 成績証明書
⑦ 入学検定料 30,000円 郵送の場合は郵便為替にて同封のこと。ただし、本学卒業(卒業見込み)者の入学検定料は15,000円。※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑧ 卒業論文および研究報告書等があれば、その写し。なお、作成していない場合は提出不要です。
⑨ 志望理由書(本学所定用紙)
⑩ 研究計画書(本学所定用紙)
⑪ 出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)※出願資格(10)、(11)に該当する場合のみ提出してください。
⑫ 推薦書(本学所定用紙) ※出願資格(10)、(11)に該当する場合のみ提出してください。
⑬ 受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑭ 封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平日:午前9時～午後5時 土曜日:午前9時～午後2時

## 社会福祉学研究科 人間福祉専攻修士課程 < 社会人入試 >

### ◆社会人募集の主旨

弘前学院大学大学院社会福祉学研究科人間福祉専攻修士課程では、一般入試とは別に、社会人を対象とした入学試験制度によって、次の要領で学生募集をします。

この社会人リカレント教育制度は、社会人・職業人に広く大学院の門戸を開くことによって、より深められた研鑽と生涯学習などの機会を提供すると共に、修士課程修了による資格取得を目的として実施するものです。

### ◆社会人大学院生に関する特例措置

現職実務従事者等で、教育方法の特例措置を希望する者には、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用して、高等教育を受ける機会を拡大するため、特例措置を行うことにしています。これによって、在職しながら通学することが可能です。

### ◆募集人員等

専攻名:人間福祉 修業年限:2年 募集人員:前期2名、後期1名

### ◆出願資格

- (1) 大学院修了者(中退、退学者を含む)
- (2) 一般入試の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当し、かつ、社会経験が2年以上ある者
- (3) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、福祉関連実務経験が3年以上ある者

(注) 出願資格(3)で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)、推薦書(本学所定用紙)、最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)、その他の書類(最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

### ◆入試日程

	前 期	後 期
出 願 期 間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試 験 日	2024年11月9日(土)午前 9時45分 会場:本学	2025年 2月21日(金)午前 9時45分 会場:本学
合 格 発 表	2024年11月15日(金)午前 9時	2025年 3月4日(火)午前 9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年 3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便としてください。

出願書類	
①	入学志願書(本学所定用紙)
②	写真票(本学所定用紙)
③	受験票(本学所定用紙)
④	検定料納付書(本学所定用紙)
⑤	卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込み証明書
⑥	成績証明書
⑦	入学検定料 30,000円 郵送の場合は郵便為替にて同封のこと。ただし、本学卒業(卒業見込み)者の入学検定料は15,000円。※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑧	卒業論文、研究報告書、修士論文、博士論文および著書等があれば、その写し。なお、作成していない場合は提出不要です。
⑨	志望理由書(本学所定用紙)
⑩	研究計画書(本学所定用紙)
⑪	出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)※出願資格(3)に該当する場合のみ提出してください。
⑫	推薦書(本学所定用紙)※出願資格(3)に該当する場合のみ提出してください。
⑬	実践活動記録および実践報告書の原本または写し
⑭	各種免許状(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、看護師、保育士、教諭、会計士等)があればその写し
⑮	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑯	封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平日:午前9時~午後5時 土曜日:午前9時~午後2時

## <一般入試・社会人入試・共通事項>

### ◆出願上の注意事項

- ・提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
- ・身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

### ◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述(専門科目)試験、面接試験、出願書類審査の結果を総合して行います。

### ◆試験時間及び試験科目 【試験会場:本学】

試験日程	9:00～	受付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述(社会福祉に関係した内容)
	11:45～12:30	昼食・休憩
	12:30～	面接

### ◆受験上の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出てください。
- (2) 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置いてください。
- (3) 受験者は試験開始15分前までに入室、着席してください。
- (4) やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
- (5) 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡してください。

### ◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。なお、電話による可否の問い合わせはしておりませんので、ご了承ください。

### ◆入学手続

合格発表後、入学手続締切日までに次のものを本学総務課に提出・納入してください。

- (1) 身元保証書(本学所定のもの)
- (2) 入学金 ※納入金は事由の如何を問わず返還いたしません。

### ◆学費一覧

	本学卒業(卒業見込み)者	本学以外からの入学者
入 学 金	50,000円	100,000円
授 業 料	820,000円	820,000円
施 設 設 備 費	100,000円	100,000円
初年度納入金	970,000円	1,020,000円

※入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。

※校納金は入学後4月と10月に分けて納入することになります。

※後援会費、校友会費等は別途納入することになります。

※学費スライド制を適用することがあります。

### ◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、3月31日までに入学を辞退する場合は、入学辞退届(様式自由)に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、アドミッションセンターへ提出してください。

## 社会福祉学研究科 人間福祉専攻修士課程 < 外国人留学生入試 >

### ◆募集人員等

専攻名: 人間福祉 修業年限: 2年 募集人員: 前期若干名、後期若干名

### ◆出願資格

外国籍(日本国籍を持たない)で、次のいずれかの資格を有し、入学する年の3月31日までに22歳に達している者。日本語については、日本語能力試験(JLPT)N2レベル程度、日本留学試験(EJU)200点(日本語:読解、聴解及び聴読解)以上の能力を有すること。

[資格]一般入試の出願資格のいずれかに該当している者

(注)一般入試の出願資格(10)「大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者」又は(11)「大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2025年3月末日までに22歳以上に達する者」に該当することにより出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書(本学所定用紙)、推薦書(本学所定用紙)、最終学校の成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)、その他の書類(最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類)を、出願期間の始まる2週間前までに提出すること。

- 大学院での講義は主として日本語で行われるため、受講に支障がない程度の日本語能力を要します。
- 入学金、学費、諸会費ならびに生活費等の滞在経費を用意できる支弁者(保護者等)が確保されている必要があります。
- 出願について不明な点がある場合は、出願締切日の1ヶ月前までにお問合せください。

### ◆入試日程

	A日程	B日程
出願期間	2024年9月11日(水)～10月31日(木)必着	2025年1月6日(月)～2月14日(金)必着
試験日	2024年11月9日(土)午前9時45分 会場:本学	2025年2月21日(金)午前9時45分 会場:本学
合格発表	2024年11月15日(金)午前9時	2025年3月4日(火)午前9時
入学手続締切日	2024年11月27日(水)	2025年3月15日(土)

## ◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)にて、出願期間中に提出してください。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードしてください。郵送の場合は書留速達便とってください。

出願書類	
①	入学志願書(本学所定用紙)
②	写真票(本学所定用紙)
③	受験票(本学所定用紙)
④	検定料納付書(本学所定用紙)
⑤	最終出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書
⑥	最終出身学校の成績証明書
⑦	(日本国内在住の志願者) 住民票[市区町村長の発行する住民票(国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの)]および在留カードのコピー (海外からの志願者)パスポートの写し(氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分)
⑧	日本語能力試験(JLPT)または日本留学試験(EJU)を受験した場合は、受験した試験の成績通知書(写し)
⑨	入学検定料 30,000円 郵送の場合は普通郵便為替を郵便局窓口で購入し、同封のこと ※銀行振込みではありませんのでご注意ください。
⑩	志望理由書(本学所定用紙)
⑪	研究計画書(本学所定用紙)
⑫	出願資格認定審査申込書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)又は(11)に該当する場合のみ提出してください。
⑬	推薦書(本学所定用紙) ※一般入試の出願資格(10)又は(11)に該当する場合のみ提出してください。
⑭	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。
⑮	封筒貼り付け用宛名シート(本学所定用紙) 出願書類を郵送する際に封筒表面に貼り付けてください。

<出願書類の提出先> 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学アドミッションセンター

<受付時間> 平 日: 午前9時～午後5時 土曜日: 午前9時～午後2時

### ◆出願上の注意事項

- (1) 本学所定用紙や出願用封筒は、すべて日本語で記入してください。
- (2) 出願の際は出願受付締切日までに到着するように十分ゆとりをもって提出してください。
- (3) 提出された出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
- (4) 身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

### ◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述(専門科目)試験、口頭試問、出願書類審査の結果を総合して行います。

### ◆試験時間及び試験科目 【試験会場:本学】

試験日程	9:00～	受付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述(社会福祉に関係した内容)
	11:45～12:30	休憩
	12:30～	面接試問

### ◆受験上の注意事項

- (1) 験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出てください。
- (2) 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置いてください。
- (3) 受験者は試験開始15分前までに入室、着席してください。
- (4) やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
- (5) 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡してください。

### ◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。  
なお、電話による可否の問い合わせはしておりませんので、ご了承ください。

### ◆入学手続

合格者に対して、本学から合格通知書とともに入学手続関係書類を送付します。合格者は、入学手続締切日までに入学金を納入し、かつ必要書類を提出してください。なお、入学手続時の納入金は返還していません。  
※日本の在留資格を持っていない場合、または在留資格が「短期滞在」の場合、入国・在留関係の手続きに、約1～2ヵ月必要となりますので、速やかに申請手続を行ってください。

### ◆学費一覧(単位:円)

	1年次	2年次
入学金	100,000円	-
授業料	820,000円	820,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
初年度納入金	1,020,000円	920,000円

- ※入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
- ※校納金は入学後4月と10月に分けて納入することになります。
- ※後援会費、校友会費等は別途納入することになります。
- ※学費スライド制を適用することがあります。

### ◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、3月31日までに入学を辞退する場合は入学辞退届(様式自由)に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、アドミッションセンターへ提出してください。

## ＜両研究科 全試験区分 共通事項＞

### 入試に関する問い合わせ先

入試について不明な点があれば、下記宛にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 弘前学院大学アドミッションセンター  
〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1  
電話 0172-34-5211(代) FAX 0172-32-9302

### 個人情報の取り扱いについて

入試出願書類、資料請求等で本学が知り得た個人の情報及び入学試験結果等については、秘密を厳守し、本学での入試関連業務およびこれに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

### 寄付金について

本学では、入学後「弘前学院施設設備充実資金寄付金」への寄付をお願いしております。教育・研究環境を更に充実させるために使われますので、任意ではございますがご協力をお願いいたします。

## 出願書類提出の注意事項一覧 ※本学所定用紙は全てA4用紙に印刷すること

出類書類	摘 要	文学研究科			社会福祉学 研究科		
		一般	社会人	外国人 留学生	一般	社会人	外国人 留学生
入学志願書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。 写真ははがれないようしっかりと糊付けしてください。(写真サイズは縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽、3か月以内に撮影したもの)	○	○	○	○	○	○
写 真 票	必要事項を記入する(本学所定用紙)。 写真ははがれないようしっかりと糊付けしてください。(写真サイズは縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽、3か月以内に撮影したもの)	○	○	○	○	○	○
受 験 票	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	○	○	○	○	○	○
検定料納付書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	○	○	○	○	○	○
卒業(修了)証明書 卒業(修了)見込み証明書	出願資格に該当する出身大学の学長が作成したもの。 外国人留学生入試の志願者は、最終出身学校のもの。	○	○	○	○	○	○
成績証明書	出願資格に該当する出身大学の学長が作成したもの。 外国人留学生入試の志願者は、最終出身学校のもの。	○	○	○	○	○	○
入学検定料	郵送の場合は、郵便局窓口にて普通郵便為替を購入し、出願書類に同封のこと。※銀行振込みではありませんのでご注意ください。	○	○	○	○	○	○
卒業論文および 研究報告書等	卒業論文および研究報告書(社会人入試志願者は修士論文、博士論文、著書等も含む)があれば、その写し。	○	○		○	○	
志望理由書	志望の動機、修了後の進路志望を記入する。	○	○	○	○	○	○
研究計画書	入学後の研究目標と抱負、研究構想などを2,000字程度にまとめる。	○	○	○	○	○	○
実践活動記録および 実践報告書	実践活動記録および実践報告書の写し。					○	
各種免許状	教諭、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、看護師、保育士、会計士などの免許状があれば、その写し。		○			○	
出願資格認定審査申込書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	△	△	△	△	△	△
推 薦 書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	△	△	△	△	△	△
住民票および 在留カードのコピー	日本国内在住の場合に提出する。住民票は市区町村長の発行するもので、国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの。			○			○
パスポートの写し	海外在住の場合(氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分)に提出する。			○			○
日本語能力試験または 日本留学試験の成績 通知書(写し)	日本語能力試験(JLPT)または日本留学試験(EJU)を受験した場合は、受験した試験の成績通知書(写し)			○			○
受験票返送用封筒	受験票返送用封筒 市販の長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)に、宛先(自分の住所)を記入し速達410円分の切手を貼ること。	○	○	○	○	○	○
封筒貼り付け用 宛名シート	必要事項を記入する(本学所定用紙) 出願書類を取り揃え、市販の角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)の表面に貼り付けて郵送してください。はがれないようしっかりと糊付けしてください。	○	○	○	○	○	○

△は、文学研究科の一般入試出願資格(10)と、社会福祉学研究科の一般入試出願資格(10)又は(11)、社会人入試出願資格(3)により出願する者のみ提出します。

## 大学案内図

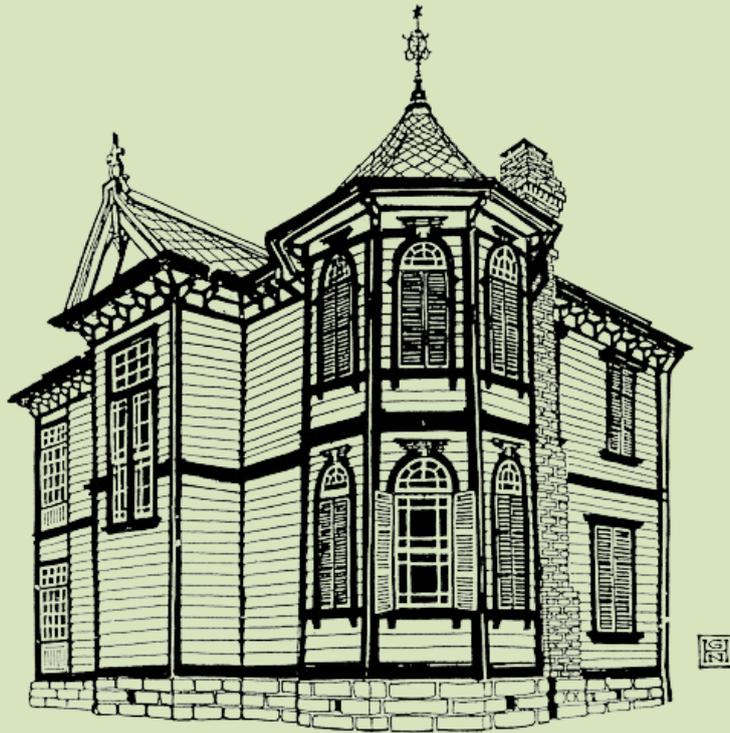
弘前学院大学 〒036-8577青森県弘前市稔町13番地1 TEL:0172-34-5211 FAX:0172-32-9302

<電車>弘南鉄道(大鰐線)中央弘前駅より乗車→「弘前学院大前」駅下車→徒歩約4分

<バス>JR弘前駅中央口から「小栗山」「狼森」行きバスに乗車12分→「三中校前」下車→徒歩約8分



受験の際の宿泊施設については、大学は斡旋しておりませんので、直接各ホテルにお問い合わせください。



国指定重要文化財 弘前学院外人宣教師館 [1906(明治39)年竣工]

入試に関する問い合わせ先



弘前学院大学 アドミッションセンター

〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1

☎ 0172-34-5211 (代表)

FAX 0172-32-9302

URL <https://www.hirogaku-u.ac.jp>

E-mail [nyushi@hirogaku-u.ac.jp](mailto:nyushi@hirogaku-u.ac.jp)